



東村山稲門会ニュース

第336号

ホームページ <https://higashimurayama-waseda.jp/>



2026年（令和8年）1月10日発行

発行責任者：町田 光高

編集長：藤井 省栄

編集者：伊藤 栄



新年のご挨拶

会長 町田 光高

皆様、明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましてはお元気で新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、東村山稲門会は2026年11月をもって、創立30周年を迎えます。記念行事が本格的に活動開始となりました。6月13日（土）には中央公民館にて特別行事として記念演奏会を予定しています。母校への寄付、東村山市への記念品贈呈、会員の皆様への記念品配布、記念誌作成も予定しています。皆様へのお願いです。行事・同好会活動等の30周年記念行事に積極的に参加し、他の会員の方と交流をさらに深くして行事等を楽しんでほしいと思います。結果として、皆様にとって、きっと思い出に残るものになると信じています。

30周年記念行事とは関連しませんが、皆様にもう1つのお願いがあります。現在、諸般の事情により『校友会から提供される卒業生情報を基にした、個別訪問による入会勧誘活動の禁止』となっています。入会勧誘活動は校友会からの情報でなく、我々の周りの情報で行う必要があります。東村山市には1,500名の校友がいます。皆様の周りの方が校友であることが判った時、役員と情報の連携を行い、積極的に東村山稲門会の活動内容を伝えと共に、東村山稲門会への入会を勧めてほしいと思います。新しい仲間が増えると嬉しいです。

今年も皆様にとって良い年となりますよう祈念し、併せてご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



総 会

第30回総会開催報告

東村山稲門会の第30回通常総会は昨年11月22日（土）、サンパルネ・コンベンションホールで来賓20名、会員69名が参加して開催された。

冒頭、この1年に亡くなった2名の会員の冥福を祈り黙祷をささげたのにつき、町田光高会長があいさつに立った。「来年11月に東村山稲門会は創立30周年を迎え、6月13日には記念コンサートを開催するなど記念行事も準備を進めている。大学からは卒業生名簿を利用した対面での勧誘活動を禁止するとの通達が出来て新会員の獲得が難しくなったが、幸い東村山ではHPなどを通じて新たに9人の新会員を迎えることができた。人口15万人の東村山市には1,500人の卒業生がいると思われる。今後も工夫して会員の輪を広げていきましょう」と呼びかけた。

続いて議事に入り、2024年度活動報告、同会計・監査報告、2025年度活動計画案、同予算案、同役員選任案（退任1名）が審議された。2025年度活動計画案では創立30周年事業に向け、「30周年、感謝を胸に新たな一歩を！」の標語を選定。6月の記念演奏会のほか、30年の歴史を記録として残す「記念誌」の発行、早稲田大学応援資金への15万円の寄付、東村山市への記念品（サンパルネホール控室に「姿見」の鏡）贈呈などの事業を盛り込んだ。5議案はいずれも原案通り承認された。

総会には渡部尚東村山市長、野地整・早稲田大学東京三多摩地域担当部長兼キャンパス企画部長、東村山三田会の田中康之幹事長のほか近隣稲門会から上田正秋東京三多摩支部長（東大和会長）はじめ清瀬、小金井、国分寺、小平、西東京、東久留米、東大和、武蔵野の計8稲門会の役員が来賓として参加した。

来賓を代表して野地部長は「早稲田大学は2032年に創立150周年を迎えるが、さらにその先、2050年を見据え『世界人類に貢献する大学』を目指し、研究、教育、貢献の3分野にわたる連携を通じて進化をはかっている」と大学の現状を報告。理工学部で校舎の新改築作業が進んでいることや、法科大学院の司法試験合格者が最多となったことを紹介し、早稲田の健在ぶりをPRした。

（次ページへ続く）

(前ページから続く)

総会に続く第2部では、東村山ふるさと歴史館の学芸員、松崎睦彦さんが「鉄道をめぐる東村山の歴史」の演題で講演。現在のJR中央線の前身である甲武鉄道の新宿―立川間が開業して以降、国分寺から北へ久米川、東村山と線路がつながり、やがて現在の西武新宿線、池袋線の開通で都心までの交通網が整備された歴史的経過を解説した。また、当会会員である市の高柳剛部長が東村山駅の高架化工事で、6月29日に開通した久米川～東村山間の下り線一番電車に乗った体験談を披露。渡部尚市長も上石神井から先乗りしていたといい、市長の期待の大きさを物語っていた。

第3部は懇親パーティー。上田・三多摩支部長、渡部市長の祝辞に続き、昭和10年生まれの本長老会員、高橋正夫さんの乾杯の音頭で開宴した。

女子学生だけで構成した早大ニューオルリンズ・ジャズクラブの生演奏が会場を華やかに盛り上げる中、今回はサプライズゲストが登場。東京六大学野球リーグで今春まで3連覇を達成したエースで、ドラフト会議で東北楽天イーグルスに入団が決まっている伊藤樹投手がマネジャーの北嶋さんとともに会場を訪れた。26年に創部125年を迎える野球部は米国遠征を計画しており、資金を募っている。小宮山悟監督もビデオで出演、協力を呼び掛けた。伊藤投手が会員の間を回って記念撮影にも応じ、寄付を募った結果、8万2000円もの寄付が集まった。



最後に小森敏孝副会長兼事務局長の衰え知らずの指揮の元、東村山稲門会の歌、早稲田大学校歌の合唱で総会を締めくくった。

○出席者 89名：会員 69名、早稲田大学 1名、東村山市長、東村山三田会 1名、近隣稲門会 17名

○会員出席者（敬称略）

青山稔、阿部茂、阿部淳也、雨谷一志、石井久長、市川彰彦、市川暢男、一色泰久、伊藤栄、井原徹、伊吹史郎、上素子、大内一男、大森平八郎、岡田一郎、小川直稔、尾島敏雄、小野浩一、風間和夫、加藤正俊、上町弓子、鴨田仁、工藤崇士、黒田祐司、小林俊治、小林昇、小林裕子、小森敏孝、崎山裕子、佐久間卓、定方美果子、澤村信義、



清水聡、杉本 優、鈴川順子、副島健、高橋正夫、高柳剛、滝川桜子、滝来京子、滝来洋二、武井勇治、田島隆夫、太刀岡貴司、田辺茂雄、田邊正史、千葉直人、當間昭治、戸田志郎、中沢義則、中島章隆、中村亨、中村幸宏、樋地正秀、平井康雄、平野茂、廣田佳郎、福住実、藤井省、堀田秀夫、真泉順一、町田光高、三宅良太、宮元祥吏、守屋幸一郎、安田忠治、山上豊、山本岩男、吉田勝

(中島 章隆 記、佐久間 卓 写真)

新年を祝う会

令和8年 新年を祝う会 は1月24日（土）開催です！

今回のアトラクションは早稲田大学ケルト音楽同好会、バンザイ同盟のパフォーマンスの他、現在カーボンフリーコンサルティング代表取締役で校友の中西武志さんの講話があります。

料理は東村山地ビール、地元ソースのポールスタアを使った黒焼きそばなどもご用意しております。

令和8年の門出ならびに30周年記念事業こけら落としに相応しい和やかな会にしましょう！

日時：1月24日（土）受付開始 13:20～

開宴：14:00～17:00

会場：サンパルネ・コンベンションホール
(東村山駅西口 ワンズタワー2F)

会費：5,000円 同伴者等 2,000円

※昼食はとらないでご出席ください。

※参加された皆様のためにいくつか参加団体他からお土産があります。

お荷物になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。



早稲田大学 ケルト音楽同好会



早稲田大学バンザイ同盟

(伊藤 栄 記)

市民雑学講座

第 126 回 市民雑学講座 映画会のご報告

映画『ビルマの豎琴』

日時：12 月 6 日（土） 14：00～16：15

会場：サンパルネ・コンベンションホール（東村山駅西口 ワンズタワー2 階）

早稲田大学校友会 東村山稲門会が主催する市民雑学講座では今年度の映画会として名作『ビルマの豎琴』を上映いたしました。当会創立 30 周年を祝う年の最初の公式行事は好評でした。

開場前から多くの市民のみなさんが訪れ、静かな緊張感と深い期待に包まれながら上映が始まりました。

◆映画が描く“いのち”と“祈り”

物語の舞台は太平洋戦争末期のビルマ。歌を愛し、仲間を想い続けた兵士水島の姿を中心に、人が人を支え合い、苦悩の中でも希望を見いだそうとする姿が描かれます。

停戦後、水島が「帰還する道」と「戦没者を弔い続ける道」の間で揺れながら選んだ決意は、今を生きる私たちにも深い問いを投げかけます。

終盤、隊長に宛てた長い手紙の朗読が始まると、会場の空気は一層静まり涙を拭う姿も見られました。

作品が持つ力を、みなさんと共有できた貴重なひとときとなりました。

◆参加者の声と広がる反響

上映後には、

- ・「戦後 80 年、平和について考える大切な時間だった」
- ・「心に深く残る作品。若い世代にも伝えたい」
- ・「水島の手紙が忘れられない」
- ・「映画会を続けてほしい」
- ・英国民謡「埴生の宿」Home, Sweet Home が心にしみた。
- ・戦中の兵士の想いと豎琴の響きに涙が溢れました。

など、多くの温かいご意見や感想が寄せられました。

また、ポスター、市民宛のはがき、知人紹介からの参加も多く、市民講座が市内に着実に浸透していることも分かりました。

◆稲門会会員でスムーズな運営

当日の会場設営、受付、誘導、投影確認、司会進行、アンケートなど、すべて円滑に行われ、短時間での準備にも関わらず、落ち着いた運営が実現し、参加者からも「安心して鑑賞できた」との声が寄せられました。

◆おわりに

『ビルマの豎琴』は、戦争の悲惨さにとどまらず、人を想う心、生き方の選択、祈りのあり方を静かに描いた作品です。

戦後 80 年を迎える今、116 名がサンパルネホールに一堂に会しこの作品を味わえたことは、稲門会としても大きな意義のある時間でした。

本講座の作品選定は吉澤さんと吉田勝さんのお二人にご尽力いただき、また、映画作品は吉澤さんのコレクションによりご提供いただきました。ご参加くださいましたみなさまに、心より御礼を申し上げます。次回の市民雑学講座もぜひ楽しみにお待ちしております。

◆来場者数

116 名（市民 86 名、会員 30 名、内ご家族 3 名）

◆会員名（敬称略）

青山、阿部茂、阿部（淳）、一色、伊藤、岡田、尾島、小野（浩）、加藤、上町、黒田、工藤、小林昇、小林（裕）、小森、崎山、佐久間、高橋（正）、滝川、田代夫人、田邊、當間夫妻、戸田、富澤、平井、町田、三宅、吉澤夫妻。

（上町 弓子 記）

お誕生会

幹事：小野 浩一

滝川 桜子・紅松 容子

9 月・10 月・11 月・12 月生れの方々のお誕生会の報告

12 月 13 日（土） 12:30～14:30 「kitchen KEIJI」にて

参加者：お誕生者 12 名、お祝い者 5 名、計 17 名（以下敬称略）

（お誕生者コメント）

青山 稔：86 歳。田無寮の 1 期生。参加して皆様と交流できることを非常にうれしく感じる。

太刀岡 貴司：本日出席のため釧路出張を先週に変更した。結果 12 月 8 日の大地震の影響を受けずに済んだ。

戸田 志郎：お誕生会開始時（当時は久米川丸藤）の思い出は感慨深い。自主出版は 9 冊。現在は中国、ロシア関連を執筆中。

上町 弓子：子供が稲門会を討論会と勘違い。先日の映画会（ビルマの堅琴）は鑑賞して感激した。女子会もよろしく。

滝来 京子：先日結婚後に住んだ土地（宝塚、神戸、西宮）に旅行。宝塚の元同僚（教員）宅に宿泊し 50 年来の旧交を温めた。

福住 実（新入会員）：町田会長の熱心？な勧誘で入会。学生時代は三浦洋一（俳優）と同じクラス。行事には妻とも参加したい。

清水 聡：会計担当として古い領収書などを全て廃棄処理した。犬の散歩が日課、週三回の運動を続けている。

平井 康雄：週 4 日のテニス、月 2、3 回のゴルフに加えてカラオケ同好会では取り敢えず通算 100 曲まで一度歌った曲は歌わないが目標。

一色 泰久：中高は陸上部（中距離）。絵画は幼少から続けている。大学時代は西洋美術館に足繁く通った。

工藤 崇士：12 月 24 日生。人前で話すのは苦手？？お誕生会は 3 回目の出席。趣味は登山、山釣り、麻雀。

吉村 正：東村山 50 年在住。教育委員などを歴任。大学でソフトボール部を創設（現在総監督）。5 代続けての早稲田ファミリー。

小森 敏孝：12 月 25 日生。誕生日は親に感謝する日。昨年に続き故郷の両親を想う島倉千代子の「赤い電話」を熱唱し大絶賛。

（お祝い者、幹事コメント）

大内 一男：初年度からの会員。他稲門会員との交流も広い。息子等から衣料品の提供（おあがり）を受けている。

町田 光高：本日は 30 周年記念イベントの第一弾。楽しく食べて飲んで交流を図りましょう。

滝川 桜子：お誕生会も含めて稲門会の様々な歴史を感じている。女子会も含めて皆様と交流を図りたい。

小野 浩一：新年を祝う会、お花見の会にも是非参加を。

紅松 容子：手術も無事終了してホットしている。次回のお誕生会でも幹事として皆様とお会いしたい。

（小野 浩一 記、大内 一男 写真）



会からのお知らせ

〇2月役員会

日時：2月14日（土）14:00～16:30

場所：市民センター第4会議室

〇2025(令和7)年度年会費納入のお願い

昨年11月22日開催の第30回総会で2025(令和7)年度の予算や活動計画が承認され、今年度の稲門会活動が本格的にスタートしました。

つきましては、2025年度（2025年11月～2026年10月）の年会費5,000円を、下記のいずれかの方法で1月31日までにお振込みいただきますようお願いいたします。

①郵便振替口座 番号 00160-0-112250 名義 東村山稲門会

同封しました専用の払込取扱票をご利用ください。

また、振込み後、領収印の付いた振込票は必ず保管をお願いいたします。

②みずほ銀行久米川支店 普通預金口座 1876557 名義 早稲田大学東村山稲門会

*なお、11月の総会に出席された会員の皆様には、会場にて納入いただいております。

役員会だより

12月13日（土）役員会の概要報告

1. 総会（11月22日(土)）

・無事に終了。野球部から感謝のメールが届いた。

2. 30周年記念イベント

・6月開催の記念演奏会に関し、リーダー会を3回開催し、全体像、懸案事項の検討を始めた。

・各同好会等への30周年補助金1万円の支給を進める。

3. 行事関係

①映画会（12月6日(土)）

・参加者116名（市民86名、会員30名）で、過去4年間で一番多く、また好評であった。

②お誕生会（12月13日(土)、9月～12月生まれの方対象）

・久米川のkitchen KEIJIにて17名参加で開催した。

③新年を祝う会（1月24日(土)予定）

・アトラクションとして、ケルト音楽同好会とバンザイ同盟を招く。

4. 会議等出席報告

①いなほ会（11月15日(土)）

・BBQパーティを開催。女性15名、男性12名参加。20代～50代。早稲田卒以外の方など色々。

②小金井稲門会総会（11月16日（日））

・第67回総会と歴史ある稲門会。会員数=約110名。総会は、夜開催（18:30開始）。

③三多摩・23区合同会長会（11月29日（土））

・23区の会長23名、三多摩の会長26名、計49名が参加。全て男性。

④商議員会フォーラム（12月6日(土)）

・来年9月で総長任期が満了。総長選挙が行われる。

5. その他

①年の表記を西暦にする件：しばらくは西暦和暦の併記とする方向で検討中。

②小金井稲門会の美術展(2026年10月21日～26日)への出品依頼あり。希望者は町田会長まで。

同好会だより

当会会員及びご家族の方は、いずれの同好会にも自由に参加できます。

囲碁同好会

世話人：杉本 優



*開催日：12月4日(木) *場所：社会福祉センター

*参加者5名(敬称略)：堀田、青木淳、田島、一色、杉本。コメント：参加者がちょっと少ないかな。

*1月は7日(木)、2月は5日（木）に決定。

*開催場所は、無料で碁石/碁盤等を預けられる所が見つからず、不便な会員も多そうですが、しばらくは社会福祉センターを使います。

ワセスポ応援の会

世話人： 小森 敏孝
 (担当) 田邊 正史
 富澤 文雄
 中村 幸宏



ラグビー関東大学対抗戦 11月23日(日)早慶戦観戦報告

今回のラグビー早慶戦は秩父宮ラグビー場で開催され、今年もNHKで実況放送されました。結果は49対21で早稲田が勝利し、この時点で総勝ち点で1位となりました。今回我々12名はバックスタンドの指定席で比較的中央寄りの第4列と第5列の席で応援することとなりましたが、我々の前列に杉並稲門会の応援団が陣取っていました。



試合途中にはキックボールが我々の席の上を飛んでゆき、現地応援の臨場感を味わうことができました。観戦後は最寄り駅に向かう途中、中村(幸)さんが『東村山稲門会』のプラカードを掲げていたところ、周辺から「さすが全国区、目立っているな。」という声が聞こえてきました。

その後は高田馬場「清瀧」に場所を移し西東京稲門会・小平稲門会との合同懇親会に東村山稲門会からは8名が参加しました。

なお「清瀧」には現地応援時に前列にいた杉並稲門会の一団も隣のエリアで祝勝会を開いておりました。あとは残る早明戦に勝利して優勝し、再び懇親会で盛り上がることを約束し、解散する事となりました。

参加者：伊藤、大内、小森、坂本、高橋(正)、滝来(京)、滝来(洋)、田邊、富澤、南湖、中村(幸)、平井

ラグビー関東大学対抗戦 12月7日(日)早明戦観戦報告

今回のラグビー早明戦は今年で101回目の試合でした。また今年もNHKで実況放送されました。当日の発表では国立競技場に39,084人の観客が集まりました(昨年の100回目は40,544人)。なお当会からの応援参加者は13名と昨年の8名から5名も増えました。試合前半は10対10の同点、後半になると早稲田にミスや反則が増え明治にリードされました。そしてロスタイム1分の終了直前に明治のゴール2m前に深く攻め込み逆転のチャンスが生まれました。その後A番からパスを受けたB番がタックルを受けて倒れ、そこに駆け寄り手を伸ばすC番。しかし間に合わずボールはわずか前方へ『ぽとり』(翌日TV録画で確認)。選手は皆よく頑張ってくれましたが、結果は19対25で優勝を逃し、最終的な順位は1位：明治、2位：筑波、



3位：早稲田、4位：帝京となりました。応援後の西東京稲門会・小平稲門会との合同懇親会(反省会)には5名が参加しました。

今後は全国大学ラグビー選手権に臨みます。早稲田は12月14日に関東リーグ戦3位の関東学院大学との試合に勝利すると次に関西リーグ1位の天理大学と12月20日に対戦する予定です。その試合に勝利すると、年明けの1月2日に国立競技場で準決勝に進むことになります。どうぞ引き続き応援をお願い致します。

「全国大学ラグビー選手権に向けて絶対に、
 “勝つぞ 勝つぞ～！ワ～セ～ダ～！”

参加者：大内、小川、小林昇、小森、坂本、崎山、定方、高橋(正)、田邊(正)、富澤夫妻、中村(幸)、平井
 (田邊 正史 記、中村 幸宏 写真)

テニス同好会

世話人：吉田 劭文

- 例会開催報告 -



11 月実績	開催回数	開催時間	総参加者	参加者/回	例会は 9 時～13 時が原則
	9 回	3 5 時間	65 人	7.2 人	試合は全てダブルス戦

＜11 月下旬～12 月中旬の活動＞中村(幸)さんが 10 月末に退職、今後の参加率・勝率の向上を期待。
 11 月 21 日(金)：快晴無風テニス日和、4 時間堪能。11 月 26 日(水)：周囲の木々に日差しが遮られ、コート上が暗くボールが見辛かった。11 月 29 日(土)：土曜にも拘らず参加者少なく残念！12 月 1 日(月)：石塚さんが久し振りにベンチに現れ会話が盛り上がった。例会後は有志数名でランチ会を開いた。12 月 5 日(金)：2 名遅れて参加するも 10 試合を消化。熱戦が多かった。12 月 8 日(月)：テニス日和。テニス始めて間もない中村さんの活躍が目をつけた。12 月 10 日(水)：黒田さん 4 戦全勝、定方さん 3 勝 1 分の大健闘。12 月 14 日(日)：前夜からの雨が止まず、11 時から開始するもコートが濡れていてボールは重く弾まなかった。12 月 15 日(月)：平井さんが 6 勝 2 敗の好成績。12 月 17 日(水)：9 時から 11 時迄を運動公園、13 時から 16 時迄を柳泉園でプレー。同一日に 2 か所で時間を空けて 5 時間の例会開催は初の試み。

「テニス同好会 新年会」のご案内 非メンバー也大歓迎！

- ①日時：1 月 18 日(日) 16:00～18:00
- ②場所：「和食処サガミ東村山店」 住所：本町 1 丁目 19-26 電話：042-396-5099
- ③会費：4,000 円 *お問い合わせは世話人まで。

＜11 月下旬～12 月中旬の参加者名簿＞

月日	時間	人数	氏 名 (敬称略・五十音順)
11/21	4H	8	黒田・定方・常世田・富澤・中村(幸)・野村・吉田(劭)・吉田勝
11/26	4H	7	定方・田島・常世田・野村・吉田(劭)・吉田勝・吉原
11/29	4H	6	黒田・當間・常世田・中村(幸)・野村・吉田(劭)
12/ 1	4H	11	石塚・定方・滝来(京)・田島・常世田・富澤・中村(幸)・野村・平井・吉田(劭)・吉田勝
12/ 5	4H	9	黒田・定方・常世田・中村(幸)・野村・平井・吉田(劭)・吉田勝・吉原
12/ 8	4H	9	定方・當間・常世田・富澤・中村(幸)・野村・平井・山口(修)・吉田(劭)
12/10	4H	9	黒田・定方・田島・常世田・富澤・中村(幸)・野村・吉田(劭)・吉田勝
12/14	2H	3	定方・中村(幸)・吉田(劭)
12/15	4H	7	黒田・常世田・富澤・野村・平井・山口(修)・吉田(劭)
12/17	2H	6	田島・富澤・中村(幸)・野村・吉田(劭)・吉田勝
同	3H	6	定方・常世田・野村・山口(修)・吉田(劭)・吉原

書道同好会

世話人：大森 平八郎



11 月 30 日第 96 回 参加者 5 名(敬称略)：上(素)・崎山・杉本・田代・大森

風邪気味、首痛等で欠席の方もあり 5 名の参加となりました。色紙完成も残り 1 ヶ月となり、上(素)さんに田代氏が時間目一杯、一点一画につき指導されました。多分 3 回以上のものを一気に凝集した中味の濃い手習いで相当力を着けた筈です。崎山さんは手本を集中して書き込み、途中 2 回ほど添削を受け乍ら行書の筆遣いの感触を掴もうと励み、杉本さんは自詠の近代詩文を作品にすべく工夫を繰り返されていました。

リハビリ入院中の赤荻さん(元会員夫人)も車椅子だった前回に比べ、病棟内を付き添いなく歩行を許されるまで回復しました。一安心しています。

- * 第 98 回開催日 1 月 31 日(土)
- * 第 99 回開催日 2 月 28 日(土)

- 開催日：毎月末日。
但し、公民館は月曜日が休館の為、
月末が月曜日の時は前日(日曜日)
- 開催時間：午後 3 時 40 分～5 時
- 開催場所：萩山公民館
(萩山町 2-13-1 TEL 042-393-3170)

カラオケ同好会

世話人：黒田 祐司
田邊 正史

カラオケルームへ復帰後第 11 回例会



カラオケルームへ復帰後第 11 回例会を 11 月 25 日(火)14:00～17:00、「カラオケ Ban Ban 久米川店」で開催しました。参加者は女性 3 名、男性 7 名、計 10 名。今回もビールとつまみを持ち込み、コーヒー、アイスクリームと共に演歌、昭和歌謡、フォークソング、ニューミュージック、アメリカンポップ等の唄が披露されました。



今回のトピックは 4 つです。1) 野中夫人の参加が 2 回目となりました。2) 上町さんが忙しいなか立ち寄り 1 曲披露してくれました。3) 例会終了前に全員で「早稲田の栄光」を歌いました。4) 例会終了後に参加可能な 7 名で懇親会を開きました。

滝川：千曲川、みだれ髪、雪の降る街を、北国の春、椰子の実。野中（元会員夫人）：THE ROSE（英語）、永遠の嘘をついてくれ、いい日旅立ち（デュエット）。上町：プレイバック Part 2。滝来（洋）：雨の御堂筋、いのちの歌、糸、夢芝居、いのちの理由。宮元：夢去りし街角、冬の稲妻（デュエット）、都会の天使たち、Honesty（英語）。小林昇：駅、いっそセレナーデ、冬のリヴィエラ、群青。工藤：強がりはやせよ、夜明け、気分を変えて、ぼくが君の思い出になってあげよう、この空を飛べたら。平井：時代遅れの Rock'n'Roll Band、にじいろ、冬の稲妻（デュエット）、出発の歌、いい日旅立ち（デュエット）、大きな古時計。黒田：千曲川、惜別の歌、あざみの歌、酒と泪と男と女。田邊：思い出通り雨、各駅停車、バラ色の雲、僕のエピローグ。

次回は、1 月 26 日、2 月 16 日、いずれも月曜日 14:00～17:00、「カラオケ Ban Ban 久米川店」。

（田邊 正史 記・写真）

俳句同好会

世話人：黒田 祐司
副島 健
中沢 義則

関東地方の冬の夜空は星がきれいに見えて美しい。そんな冬の星を詠んだ名句も少なくありません。大峯あきらさんの句に「切干も金星もまた新しく」があります。夕空に一番星がぼつんと見えて、夕方というには早い時間である事を「新しく」と表現しました。切干大根もまだ干されて間がなく白さを残しています。

それも「新しく」と言っています。切干と金星をいう無関係であったものが、「まだ新しく」という表現で結びついた不思議な一句です。10 月の稲酔会の最高得点句の豆乳さんの句もまた星を詠んだ不思議な句でした。大峯さんの句では金星でしたが、豆乳さんの句は火星です。

夜の森きのこ火星と交信す

豆乳

ねここ評「きのこはアンテナのような形が面白いなあと思っていました。『夜の森ではきっとこんなことが起こっているに違いない』と思わせる不思議が詰まった句だと思います。」

さて、俳句同好会では東村山稲門会の 30 周年記念事業の一環として、東村山シルバー人材センターのカルチャーセンター句会と銀嶺句会の方々にも参加いただき、共同の吟行、句会を 6 月に開催する予定です。テーマは「東村山の風景や行事など」を詠むです。俳句同好会以外の稲門会会員の方々にも是非、句をお寄せいただければと思います。詳細は新年を祝う会にて発表いたします。

次回の第 144 回稲酔句会は 2 月 26 日の木曜日を予定しています。（場所は社会福祉センター予定）

俳句に興味、ご関心のある方は、「お問い合わせフォーム」から副島（そえじま）までご連絡ください。

（副島 鶴来 記）

音楽同好会

世話人：北野 二郎
高橋 文子

12月2日カラオケ BanBan 久米川店にて例会を開催しました。

参加者は3人でしたが、選択曲の内容は、英詞の歌や世界の民謡などバラエティに富み、楽しく歌えました。何度か練習した歌もあります。

歌唱曲：雪の降る町を、エーデルワイス、White Christmas、赤鼻のトナカイ、家路、故郷の人々、サンタ・ルチア、ともしび、翼をください、Love Me Tender、Release Me、など16曲。

今回は、2月10日(火)、カラオケ BanBan 久米川店、14:00 から開催します。

なお、当会は発足時から、お手持ちの楽器演奏での参加も、歓迎しています。

お問い合わせは「お問い合わせフォーム」から世話人まで。

参加者(敬称略)：滝川、野中(元会員夫人)、高橋(文)

(高橋 文子 記)

投稿

最近スポーツ観戦で感じたこと

堀田 秀夫

我国も格差社会が本格的に始まりました。地方から早稲田に学ぶことは、経済的に困難な事態が生じています。ラグビーを例にとりますと、あの早稲田赤黒のだんだらのジャージーを着て、天下を制し、『荒ぶる』を国立競技場で歌いたい(今年は歌います)と思っている高校生諸君は少なくありません。しかし、経済的な困難に出合っているのです。ラグビーは激しい格闘技ですから、アルバイトなどできるはずがありません。部員がアルバイトによって家計を助けることができないのです。それはラグビーだけでなく硬式野球・競走部等々もそうです。今回東村山稲門会に、あのエース伊藤君が野球部への寄付をお願いに来ましたことは、びっくりしましたし、感じるものがあります。どうか観戦・応援もさることながら、寄付についてもお考え下さいますように。僭越極まりない文面、皆様何卒お許し下さいますように。

会員だより

I ラブ東村山

高柳 剛 (1991(平成3)年社学。野口町在住)



大学時代はちょうどバブル期と重なり、親のクルマで友人と湘南方面にドライブに行ったり、DCブランドのバザーを梯子するなど、今思えば楽しい時代を過ごすことができました。就職活動も超売手市場で複数の内定から学生が企業を選択するような時期で、損害保険会社に就職しました。最初の赴任地が山梨県甲府市でしたが、結婚を契機に4年で退職し、令和7年4月に東村山市役所に入庁しました。同時に東村山に転居し、すでに31年目となりました。

本会との関わるきっかけは、市役所の先輩(水野要さん)の勧めがあり、設立時より本会の会員となりました(当時は20代)。ただ、子育て、消防団、社会人大学院、東京都派遣などから、なかなか活動に参加できず申し訳ない限りです。それでもお花見会や総会などに参加した際には、多くの先輩方に可愛がっていただきました。

子育てがひと段落したこと、数年前から大学時代の仲間とテニスを再開するとともに、当会のテニス同好会にも参加させていただき、会員との交流の輪が広がっています。


現在、地域創生部で「産業振興」「シティセールス」「スポーツ振興」を所掌していますが、様々なイベントなどで会員の方々に声をかけていただき励みになっています。

最近のトピックとしては、西武新宿線の下り線が高架に切り替わり、高架化により創出される空間の利活用案を市として検討しています。東村山駅周辺がこれから10年で大きく変わりますが、職員として、市民としても大いに期待している事業ですので、ぜひ会員の皆さんも注視していただければ幸いです。

また、東村山出身の羽出山(はつやま)関が令和8年初場所の番付発表(12月22日)で幕内に昇進する明るいニュースもあり、全市挙げて盛り上げていきたいと思っています。

同好会・イベント 短期予定表					―：対象月に開催予定無し、*：ニュース編集時点で未定。					
同好会・行事	1月				2月				世 話 人 (問合せ先)	
	日	曜	時 間	場 所	日	曜	時 間	場 所		
ウォーキングの会	―	―	―	―	―	―	―	―	真 泉 杉 本	
郷土史の会	―	―	―	―	―	―	―	―	阿部茂	
テニス同好会	4	日	9:00～13:00	運動公園 E	4	水	10:00～14:00	柳泉園 A	吉田(劭)	
	7	水	10:00～14:00	柳泉園 E	7	土	9:00～13:00	運動公園 E		
	9	金	9:00～13:00	運動公園 C	9	月	9:00～13:00	運動公園 C		
	14	水	9:00～11:00	運動公園 C	11	祝	10:00～14:00	柳泉園 A→B		
	17	土	9:00～13:00	運動公園 C	15	日	9:00～13:00	運動公園 C		
	19月,25日,28水,31土。詳細はHP参照。				20金,25水,28土。詳細はHP参照。					
囲碁 同好会	7	水	12:30～16:30	社会福祉センター	5	木	12:30～16:30	社会福祉センター	杉 本	
カラオケ同好会	26	月	14:00～17:00	カラオケBanBan久米川	16	月	14:00～17:00	カラオケBanBan久米川	黒 田	
園 芸 の 会	―	―	―	―	―	―	―	―	當 間	
麻雀 同好会	―	―	―	―	―	―	―	―	工 藤	
音楽 同好会	―	―	―	―	10	火	14:00～16:30	カラオケBanBan久米川	高橋(文)	
俳句 同好会	―	―	―	―	26	木	13:00～16:00	社会福祉センター	副 島	
ゴルフ同好会	―	―	―	―	―	―	―	―	尾 島	
女 子 会	―	―	―	―	―	―	―	―	滝 川	
早稲田スポーツを 応援する会	ラガビー	―	―	―	―	―	―	―	小 森	
書 道 同 好 会	31	土	15:40～17:00	萩山公民館	28	土	15:40～17:00	萩山公民館	大 森	
新年を祝う会	24	土	14:00～17:00	サンパルネ・ホール	―	―	―	―	伊 藤	

編集後記




○あけましておめでとうございます。今年最初のニュースをお届けします。皆さんは、初詣に行かれたでしょうか？私は、3日に西東京市の東伏見稲荷神社に行ってきました。ここは、私の生まれ育った地の近くで、小さい頃から元旦には家族揃ってお参りしていました。東村山に移り住んで40年近くなりますが、今でも初詣は東伏見稲荷に行きます。

○東村山稲門会ニュースのタイトルには、本号から変更された箇所があります。どこかお分かりですか？答えは、次号の編集後記で。（藤井 省 記）

次号の締め切りは1月22日（木）です。皆様の投稿をお待ちしています。

📍

ホームページ
カレンダー



俳壇

戸田 梶

紅葉散る日の出まぶしく目をつぶる
初明かり秩父の山々清々し

八木 竜湖

何千里アサギマダラの飛び来たり
アサヒスーパードライはビールの名

よわい 黒田 柿黒

齢のみ父を超えたり初詣
ポストまで素足寝巻で年賀状

小久保 野火児

落ち葉からころ電車がたこと遊歩道
冬鯖の深き青さや刺身皿

副島 鶴来

箱根駅伝応援疲れ暮にけり
初御籤大吉そっと仕舞い込む

中沢 豆乳

慎ましく生きよ小吉初みくじ
牡蠣踊る小鍋分け合ふ仲となり

森川 ねここ

ヴィオロンは一番高音へ冬
木枯しやトランペットの厚き音

山口 泰山

初任地の石炭手当大氷柱
猿団子ボス争いの気配なく

菊田 一平

抜き打ちの商品テスト日短し
着膨れて見上げる飛行船の空